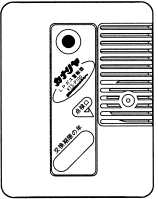


品名：**カナリヤ**  
液化石油ガス警報器  
取扱説明書(保証書付)

「高圧ガス保安協会」検定合格品  
型式：KTS-P100M

- この警報器(**カナリヤ**)は、液化石油ガス(LPガス・プロパンガス)専用ガス警報器です。(以下、警報器と称します)都市ガスには、都市ガス用警報器をご使用ください。
- ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくご使用いただくとともに、ガス事故防止のために、ガスの取扱いには一層のご注意をお願いします。
- この説明書には保証書が付いていますので取付け後も大切に保管してください。



① 必ず行う	この警報器をご使用になる際、付属の点検ガスで作動テストを行い、警報ブザー音が自分の耳で聞き取れるか必ず確認してください。
警告	この警報器は、不完全燃焼及び酸素欠乏による中毒防止用ではありません。 この警報器は、浴室では絶対にご使用にならないでください。(漏電、感電のおそれがあります)
●販売店名 (連絡先)	
(販売店の名称・連絡先・住所・電話・FAX等を記入してください)	

発売元：**アズビル金門株式会社**  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目24番1号

液化石油ガス用ガス警報器

**保証書**

品名 **カナリヤ** 型式 KTS-P100M

このたびはガス警報器をお求めいただき誠にありがとうございました。  
この製品は高圧ガス保安協会検定に合格したものです。  
従って正常な使用状態では故障の心配はありませんが、保証期間中万一異常を生じた場合は速やかに販売店に連絡し、本書を提示してください。  
次の要領で下記の者が点検または交換いたします。

・保証期間 警報器本体正面の交換期限表示部に記載された期限内

・保証適用 取扱説明書に基づく正常な使用状態で製造上の責任による故障の場合は無償で交換します。  
裏面に記載してある事項の場合※

・保証適用除外 警報器の異常等のお申出がありました際は無償で次の保守点検をいたします。ただし、集中監視型警報器については別途保守契約によります。

・保守点検 (1)標準点検ガス又は点検具(チェッカー)を使用しての作動テスト  
(2)誤報発生の有無の確認(聴取による)  
(3)設置場所の適否についての確認

(実施者) 販売店

〒 TEL (販売店は必ず記入してください)

(保証者) 発売元

**アズビル金門株式会社**  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目24番1号

QA9P2789 2023. 7. 4 K

① 安全に正しくお使いいただくために

警報器を正しくお使いいただくため、またお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書にはいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵記号の例

記号は、「禁止」(しないでください)を示します。

記号は、「強制」(必ずしてください)を示します。

② 安全のために必ずお守りください

A: ガスもれにより警報ブザーが鳴ったときは、あわてず次の処置をしてください

危険	火花などにより爆発の恐れがありますので次のことは絶対にしないでください。		
① マッチ、ライターなど火気は使用しない。	② 電気製品、換気扇、扇風機などのスイッチに絶対触れない。	③ 電源プラグの抜き差しはしない。	
火気禁止	触れるな	禁止	

① まず、火を消してガス栓(元栓)を閉め ① 閉める  
てください。

ガス栓

— 1 —

③ 警報器の取扱い方法

- ①電源プラグをコンセントに差し込む。  
表示ランプ(赤)が点灯しその後約40秒間は、警報器が作動状態に入る準備タイムです。この40秒間は、ガスがかかっても警報ブザーは鳴りません。(停電復帰時も同様です)  
※初期通電時および停電復帰時「ピッ」と音がでる場合がありますが異常ではありません。
- ②約40秒後作動状態に入り、常時ガスもれ検知可能な状態となります。
- ③ガスもれを検知すると表示ランプ(赤)が点滅に変わり、警報ブザーが鳴ります。  
※ガスがなくなると、警報ブザーが鳴りやんで②の状態に戻ります。

※停電時はガスもれを検知しません。  
※警報器本体は多少暖かくなりますが、異常ではありません。  
※日常、警報器が作動状態にあることを示す表示ランプ(赤)が点灯していることを確認してください。

④ 警報器のお手入れ方法

注意	警報器表面等が汚れてお手入れをされる場合、かわいた手で電源を切り、水または石けん水を浸した布をよく絞ってふきとってください。ふき終わったら電源を入れ、5. 警報器の点検方法にしたがって動作を確認してください。(内部に水が入らないよう注意してください) ※中性洗剤を使ったときは、しばらく警報ブザーが鳴りやまないときがあります。また、電源プラグの抜き差しは、絶対にぬれた手では行わないでください。	必ず行う
お手入れの際、ベンジンまたはシンナーなどの薬剤は使わないでください。警報器表面に傷が付いたり、故障の原因となります。		禁止

- ②ドアや窓を静かに開けて自然換気をしてください。もれたガスは空気より重いので、室内の下の方にとまっていますので、空気が流れるようにドアや窓を開けてください。
- ③ガスがなくなれば、警報ブザーは自動的に鳴りやみますので、鳴りやんでからガスもれの箇所を点検してください。(注) ガスもれの原因として、点火ミス、立ち消え、器具栓が完全に閉まっていないことや、ゴム管のひび割れ等が考えられます。
- ④警報ブザーが鳴りやまないとき、または、警報ブザーが鳴りやんでもガスもれ箇所がわからないときは、ただちに販売店に連絡してください。

B: ご使用上の注意事項

警告	電源コードは切断しないでください。また電源コードを傷つけたり加工したり、無理に曲げたり引っ張ったり、はさみ込んだりしないでください。(感電や火災の恐れがあります)	禁止
予備コンセントにピンや針金などの金属物や、異物を入れないでください。 (感電する恐れがあります) ※オプションのコンセントカバーを使用することにより、思いがけない事故による感電やショートなどを防いでくれます。(誤飲する恐れのある場合は使用しないこと)		
警報器の電源は常に通電している交流100V専用コンセントに接続してください。(電源プラグを抜きますとガスがもれていても警報しません)		
警報器は絶対に分解・改造しないでください。また、落下させたり衝撃を与えるような取扱はしないでください。(故障の原因となります)		

— 2 —

⑤ 警報器の点検方法

- 次の方法で月1回程度点検してください。
- ①表示ランプ(赤)が点灯していることを確かめてください。
  - ②付属の点検ガスのキャップを開け、先端を警報器の点検口に当ててください。
  - ③点検ガスの容器を2〜3回指で強くつまんでガスを吹きつけてください。
  - ④表示ランプ(赤)が点滅に変わり、警報ブザーが鳴ります。点検ガスの吹きかけをやめガスがなくなると表示ランプ(赤)の点滅が点灯に変わり、警報ブザーも鳴りやみます。
  - ⑤点検ガスを吹きつけても、警報ブザーが鳴らないなどのときは、⑦アフターサービスについてをお読みください。
  - ⑥点検ガスは蒸発しやすいので、使用後は点検ガスのキャップをしっかりと閉めてください。
  - ⑦点検ガスを警報器本体の近くの目に付きやすいところに保管してください。
- ※販売店は2年に1回点検してください。

注意	①付属の点検ガス以外は、絶対に使用しないでください。
禁止	①小さなお子様のいるご家庭では、点検ガスは、お子様の手の届かないところ、また直射日光、高温、火気をさけて保管してください。 ・点検ガスが目に入った場合はすぐで目を洗い、異常を感じた場合は医師の指示を受けてください。 ・誤って、飲み込んだ場合はすぐに医師の指示を受けてください。 ・点検ガス容器内の固形物(青色)の成分は次の通りです。(毒性はありません) 固形エチルアルコール…86%以上 エチルシリケート…約10% 水分、その他…約4% (着色剤…アトロシアニブルー)
必ず行う	③点検ガスがなくなりましたら、販売店でお買求めください。

— 5 —

警告	警報器以外の電気製品を同時にご使用になる場合には、警報器の電源プラグの予備コンセントをご利用ください。ただし、接続できる電気製品の消費電力は、交流100Vで1490W以下です。また、電源プラグは確実に差し込んでください。電源プラグは、時々お手入れしてください。たまったホコリに湿気が加わり発火・焼損につながる恐れがありますので、電源プラグの刃および刃の取付面のゴミやホコリをかいた布等で取り除いてください。※ショートコード(長さ約35cm)には予備コンセントはありません。	警報器のアドオンプラグ (1490W以下)	他の電気製品 (1490W以下)
		禁止	禁止

警報器の前にものを置いたり、取り付けたりしないでください。(警報が遅れたり、しない場合があります)		禁止
警報器の取付位置を移動させないでください。取付位置を変更する必要がある場合は、販売店に依頼してください。		移動 禁止

注意	警告表示ステッカー「警報器が鳴ったら」をよくお読みのうえ、必ず目に付く場所に貼ってください。また、警告表示に緊急時の連絡先(販売店名など)・電話番号が記入されているか確かめてください。	必ず行う
警報器の交換期限が過ぎていないか確認してください。交換期限が過ぎたものは保証致しかねますので、必ず新しい警報器にお取り替えください。(交換期限は西暦で表示しております)		必ず行う

C: 殺虫剤やペンキなどで警報ブザーが鳴った場合

注意	ガスもれ以外でも次のような場合、警報ブザーが鳴ることがあります。すぐ鳴りやみますので警報器の電源プラグは抜かないでください。(不具合の原因となりますので、ドアや窓を開け、自然換気を十分に行ってください)
①殺虫剤、化粧品などのスプレーを警報器の近くで使用したとき ②シンナー、ペンキなど可燃性の溶剤や塗料を警報器の近くで使用したとき ③ミリン、しょう油、ワイン、酒などの濃い蒸気がかかったとき ④濃厚なタバコの煙などがかかったとき	

— 3 —

⑥ 交換期限

この警報器の交換期限は、本体正面の「交換期限表示部」に記載されています。交換期限が過ぎたものは保証いたしかねますので、必ず新しい警報器とお取替えください。

●交換期限表示部の見方

交換期限表示部の記載例(西暦2030年までの例)

交換期限の年

2030年

※交換期限の表示は、西暦で記載してあります。

⑦ アフターサービスについて

①点検を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、次の点検と処置をしていただき、なお異常があるときは販売店にお申しつけください。

症 状	原 因	処 置
表示ランプ(赤)が点灯していない	・電源プラグがはずれている	電源プラグをコンセントに差し込む
	・停電	
	・電源ブレーカーが切れている	電源ブレーカーを入れる
点検ガスで警報ブザーが鳴らない	・点検口を間違えている	正しい位置で点検
	・点検ガス容器内に固形物(青色)がない	新しい点検ガスを販売店で買い求める
ガスもれの様子が無いのに警報ブザーが鳴った	・近くでスプレー、殺虫剤、ペンキ、シンナーなどを使用	ドアや窓を開け自然換気する
	・酒、みりんなどの濃い蒸気がかかった	
	・濃厚なタバコの煙などがかかった	

②万一異常が生じた場合は、速やかに販売店に連絡し、添付の保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づき販売店で点検または交換いたします。

— 6 —

— 4 —



